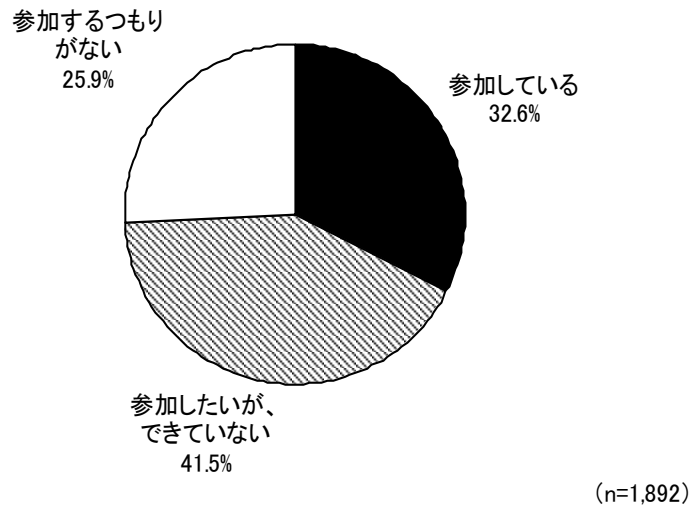


II 地域・社会活動の状況

1. 社会活動・地域活動への参加状況、参加できない理由

社会活動・地域活動への参加状況は、「参加したいが、できていない」が41.5%ともっとも高く、次いで、「参加している」(32.6%)、「参加するつもりがない」(25.9%)と続いている。参加できない理由としては、「仕事が忙しいから」が約5割を占めた。

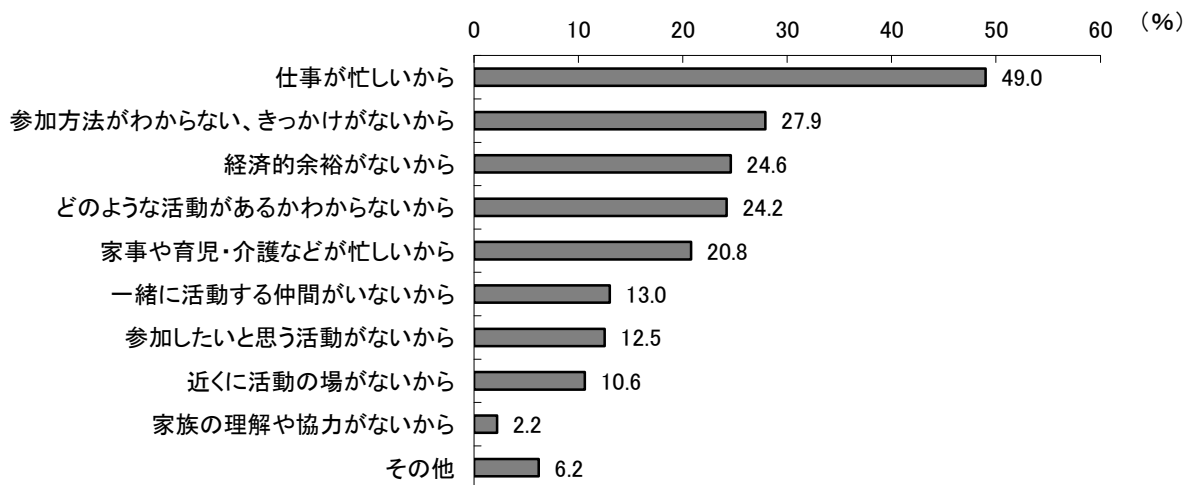
図表Ⅱ－1－1 社会活動・地域活動への参加状況（都）



注1：社会活動・地域活動とは、職業以外の社会活動、地域活動（各種ボランティア、NPO、自治会・町内会の活動、PTA活動、趣味・サークル・スポーツ等の活動など）を指す。

資料：東京都生活文化局「男女平等参画に関する世論調査」（平成23年）

図表Ⅱ－1－2 参加できない理由（都）



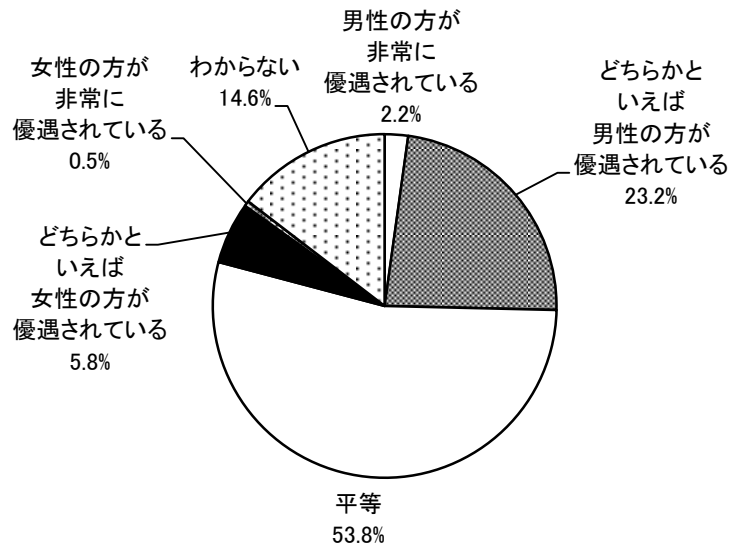
（複数回答）(n=785)

資料：東京都生活文化局「男女平等参画に関する世論調査」（平成23年）

2. 地域活動の場における男女の地位の平等感

自治会やNPOなどの地域活動の場における男女の地位の平等感は、「平等」が5割を超え、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(23.2%)、「わからない」(14.6%)と続いている。

図表Ⅱ－2－1 自治会やNPOなどの地域活動の場における男女の地位の平等感（都）

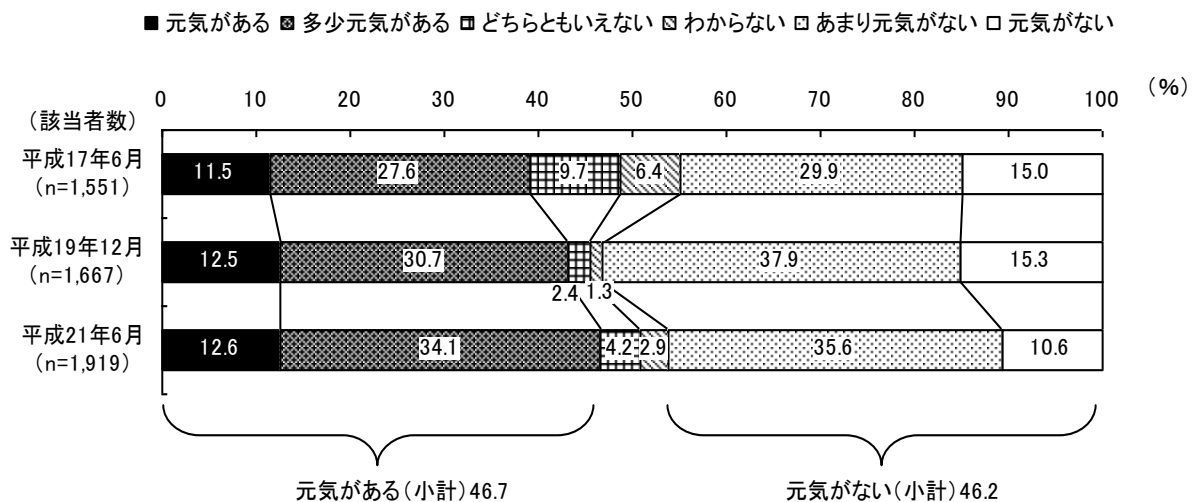


資料：東京都生活文化局「男女平等参画に関する世論調査」（平成23年）

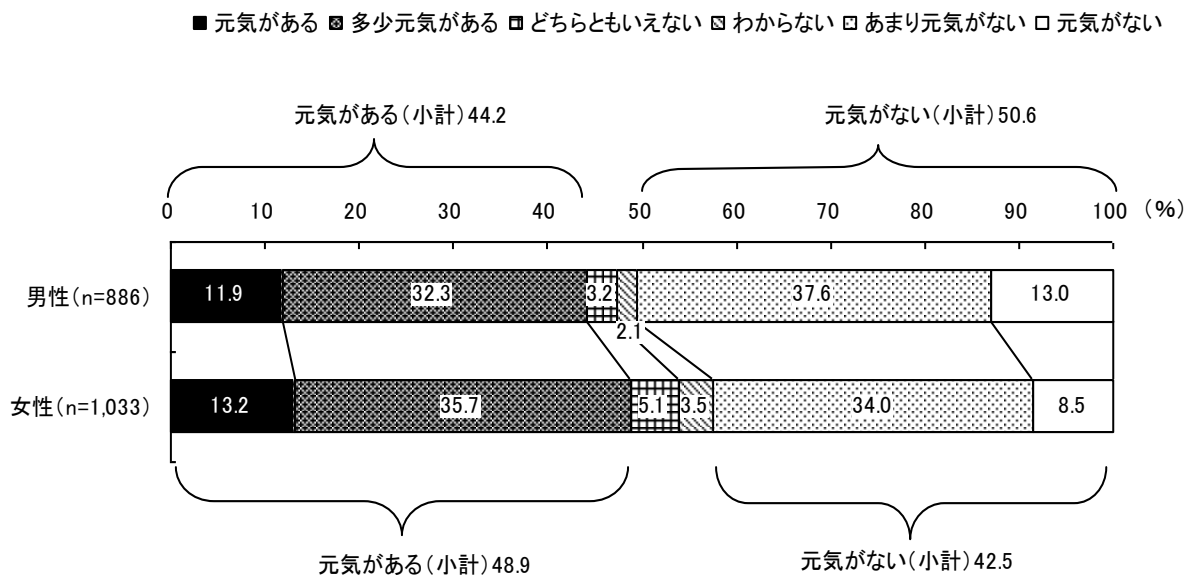
3. 住んでいる地域は元気があると思うか、地域が元気になるための活動等

住んでいる地域は、「元気がある」と思う人は年々増加し、平成21年6月では、46.7%となっており、男女別で見ると、男性は44.2%、女性は48.9%となっている。

図表Ⅱ-3-1 住んでいる地域は元気があると思うか（全国）
＜推移＞



＜男女別（平成21年）＞

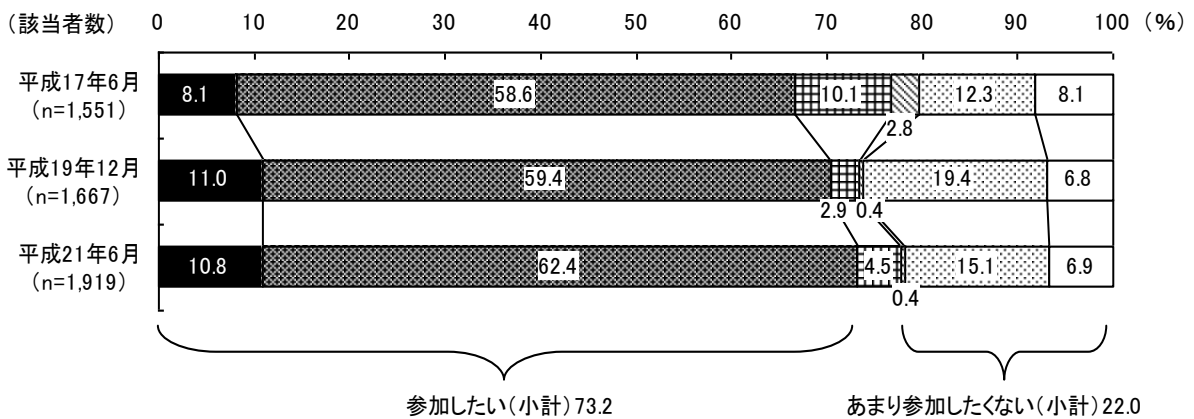


資料：内閣府「地方再生に関する特別世論調査」（平成21年）

地域が元気になるための活動に「参加したい」と思う人は、年々増加し、平成 21 年 6 月では 73.2% となっている。男女別で見ると、男性は 74.7%、女性は 71.8% となっている。

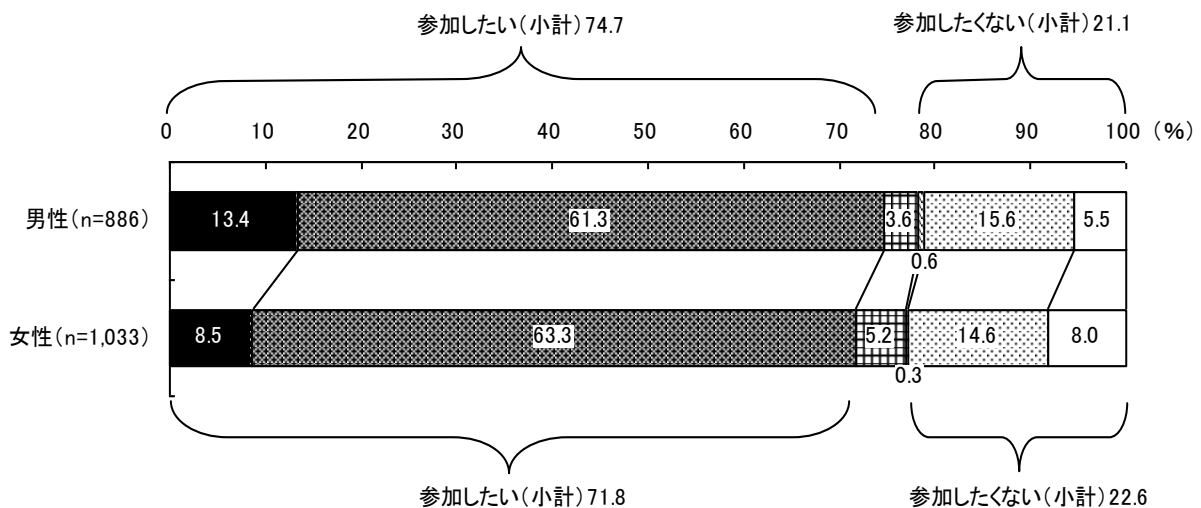
図表Ⅱ－3－2 地域が元気になるための活動に参加したいと思うか（全国）
＜推移＞

■ 積極的に参加したい ■ 機会があれば参加したい ■ どちらともいえない ■ わからない ■ あまり参加したくない □ 参加したくない



＜男女別（平成 21 年）＞

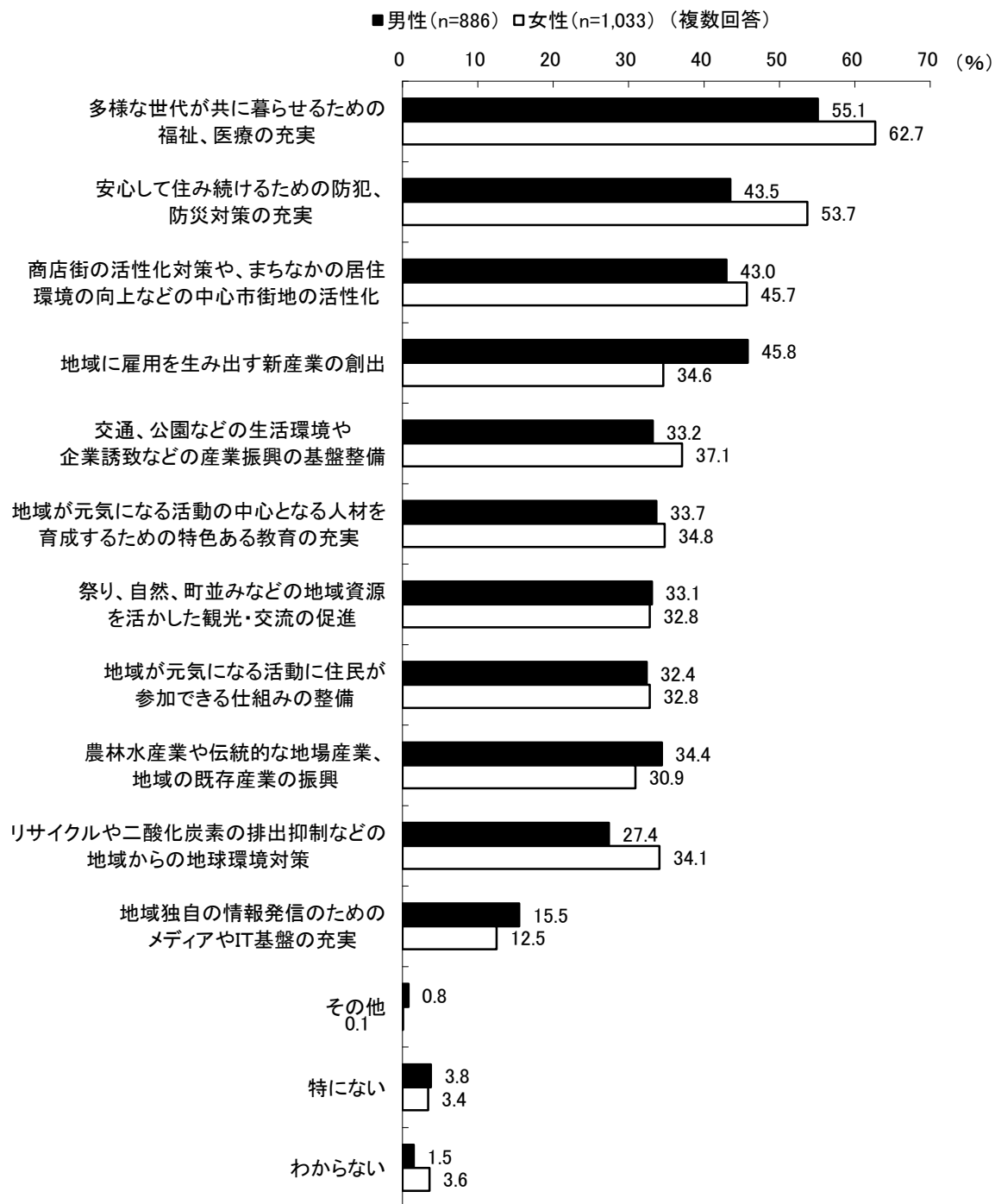
■ 積極的に参加したい ■ 機会があれば参加したい ■ どちらともいえない ■ わからない ■ あまり参加したくない □ 参加したくない



資料：内閣府「地方再生に関する特別世論調査」（平成 21 年）

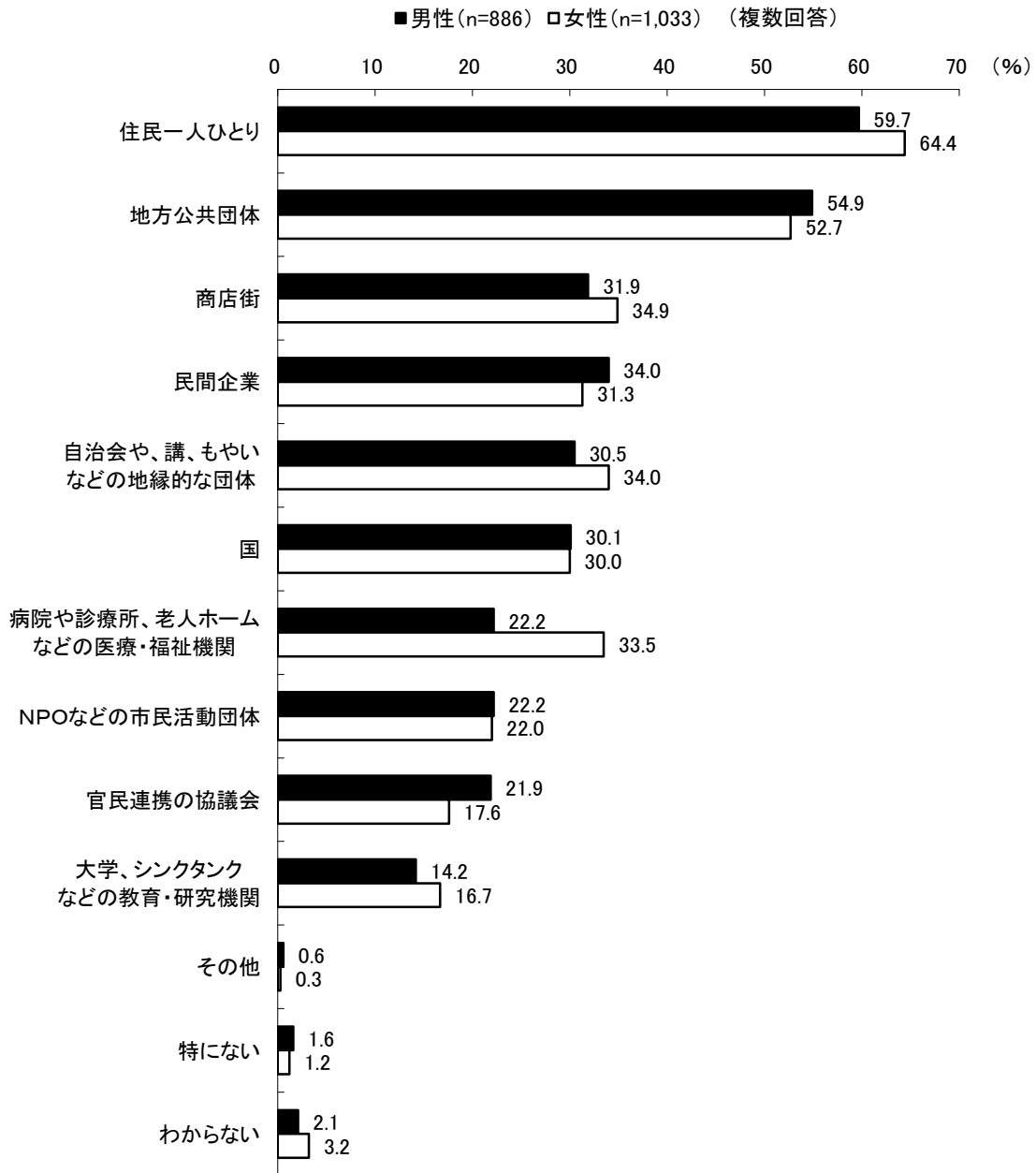
地域が元気になるために特に期待する政策は、「多様な世代が共に暮らせるための福祉、医療の充実」が男女ともにもっとも高く、また、中心となって活動すべき人々は、「住民一人ひとり」が男女ともにもっとも高かった。

図表Ⅱ－３－３ 地域が元気になるために特に期待する政策（全国）



資料：内閣府「地方再生に関する特別世論調査」（平成 21 年）

図表Ⅱ－3－4 中心となって活動すべき人々、団体（全国）

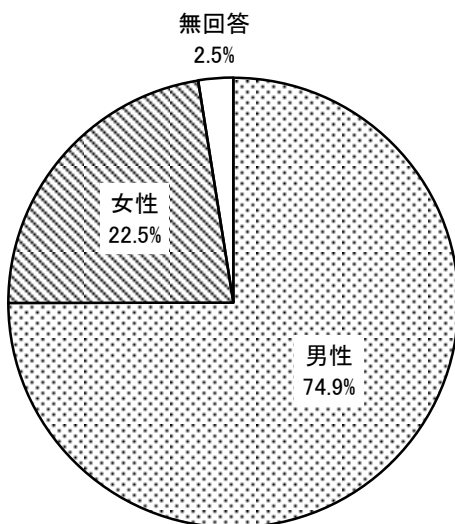


資料：内閣府「地方再生に関する特別世論調査」（平成 21 年）

4. NPO・市民活動団体における参画

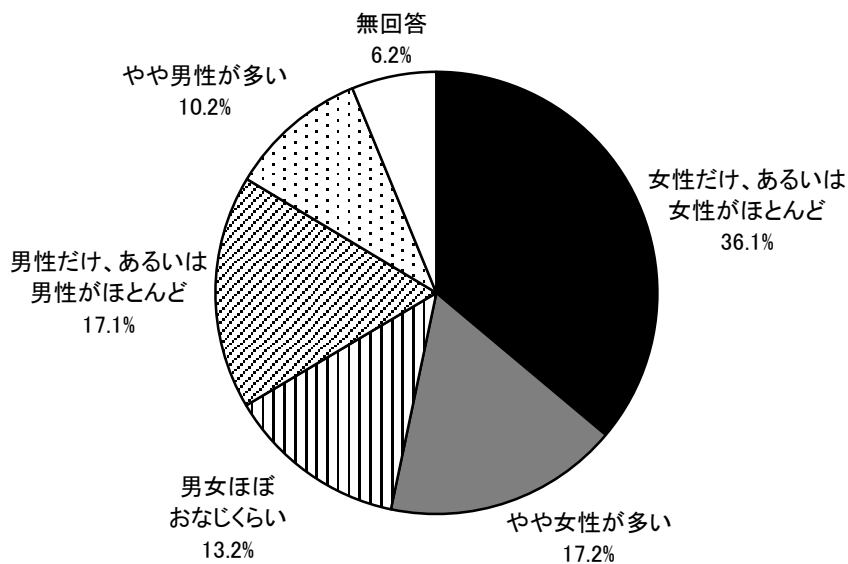
NPO代表者に占める女性の割合は、22.5%となっているが、市民活動団体の事務局スタッフの構成をみると、女性スタッフが多い団体が約半数を占めている。活動分野の性別構成をみると、特に福祉の分野では、女性スタッフが多い。

図表Ⅱ-4-1 NPO代表者に占める女性の割合（全国）



資料：内閣府「平成21年版男女共同参画白書」

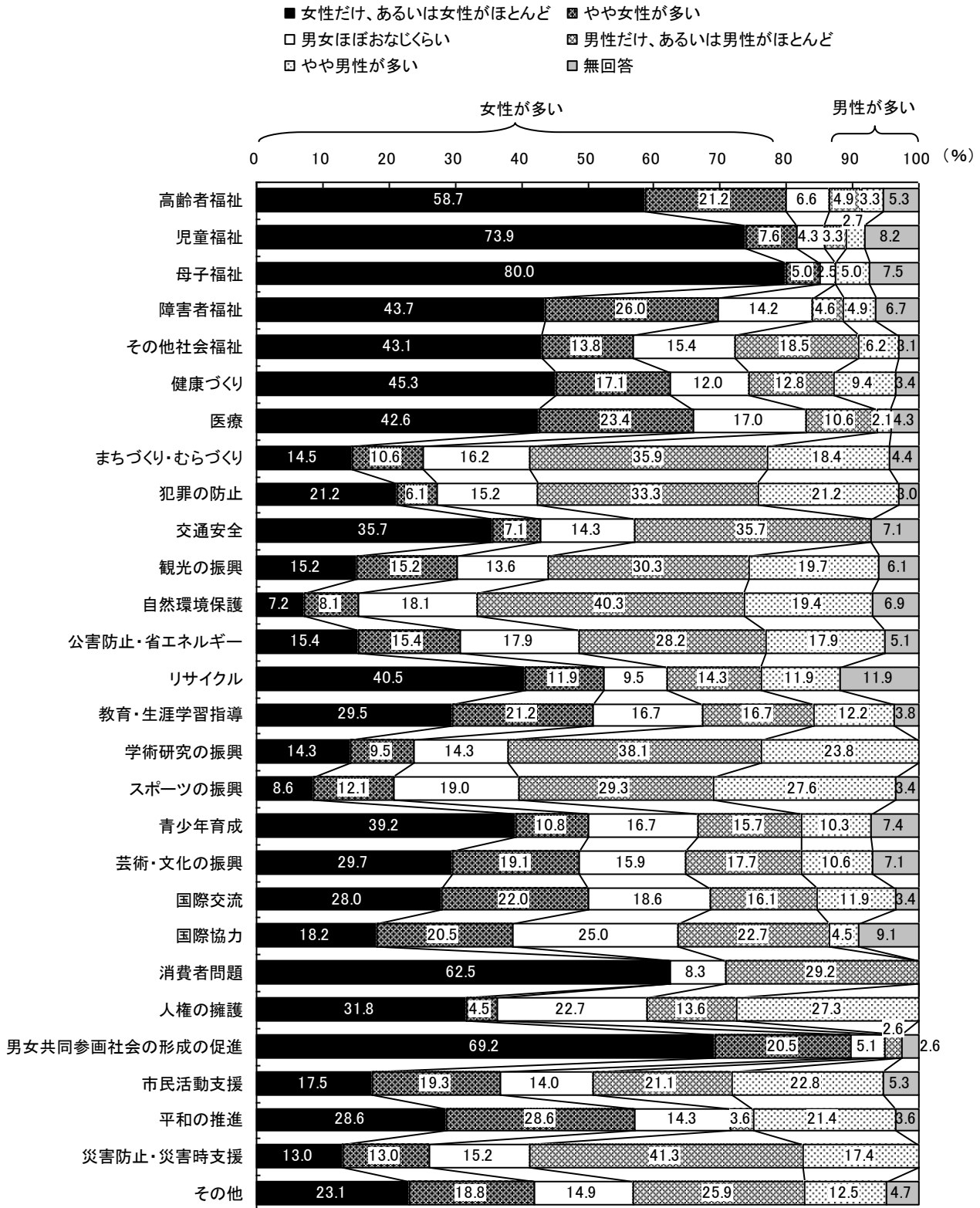
図表Ⅱ-4-2 市民活動団体の事務局スタッフの性別構成（全国）



(n=4,379)

資料：内閣府「平成20年度市民活動団体等基本調査報告書」

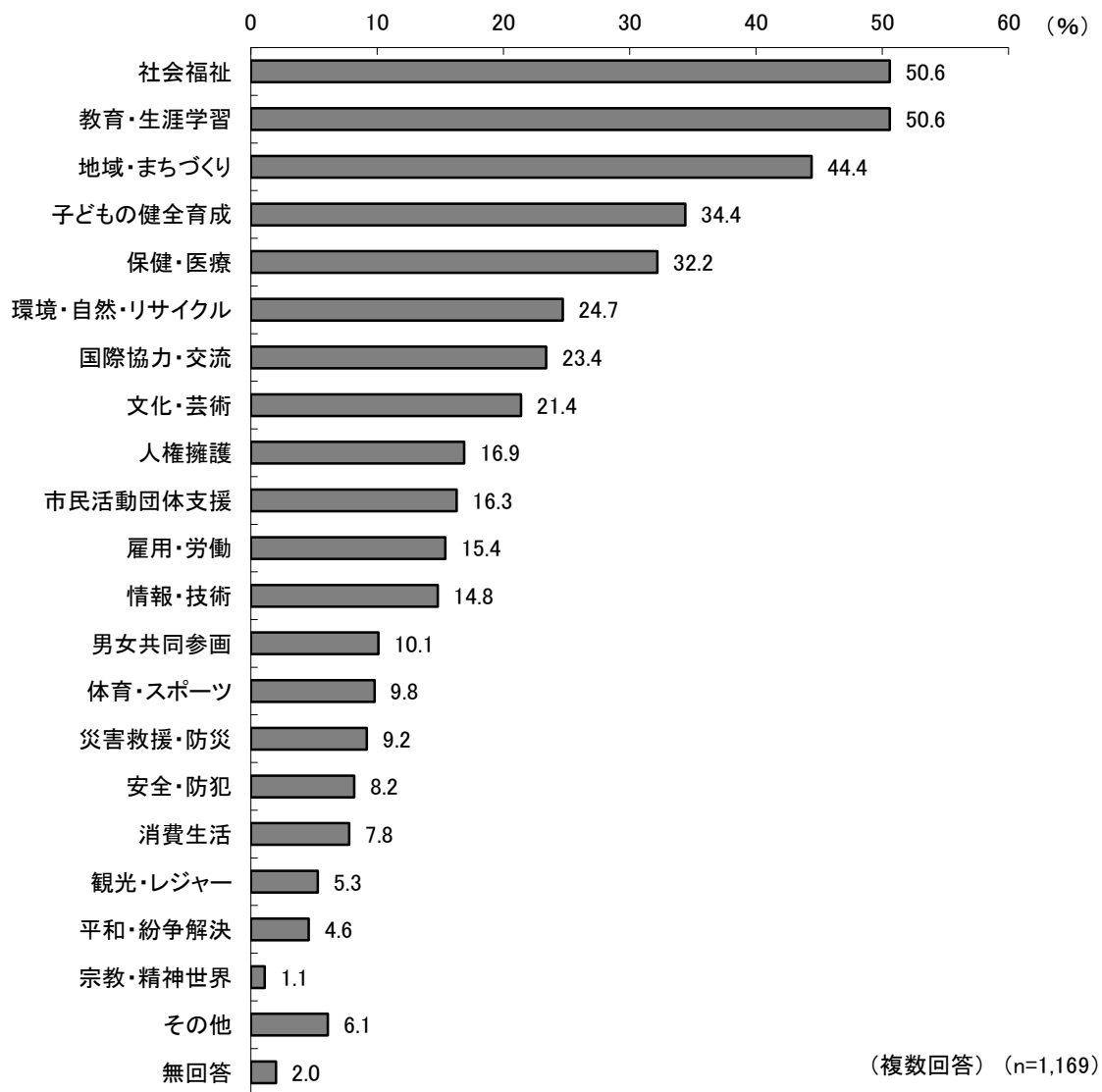
図表Ⅱ-4-3 市民活動団体の活動分野の性別構成（全国）



資料：内閣府「平成20年度市民活動団体等基本調査報告書」

主な活動分野は、「社会福祉」と「教育・生涯学習」が 50.6%と半数以上を占め、「男女共同参画」は 10.1%となっている。主たる支援対象は「一般市民・地域住民」が 7 割を超える。

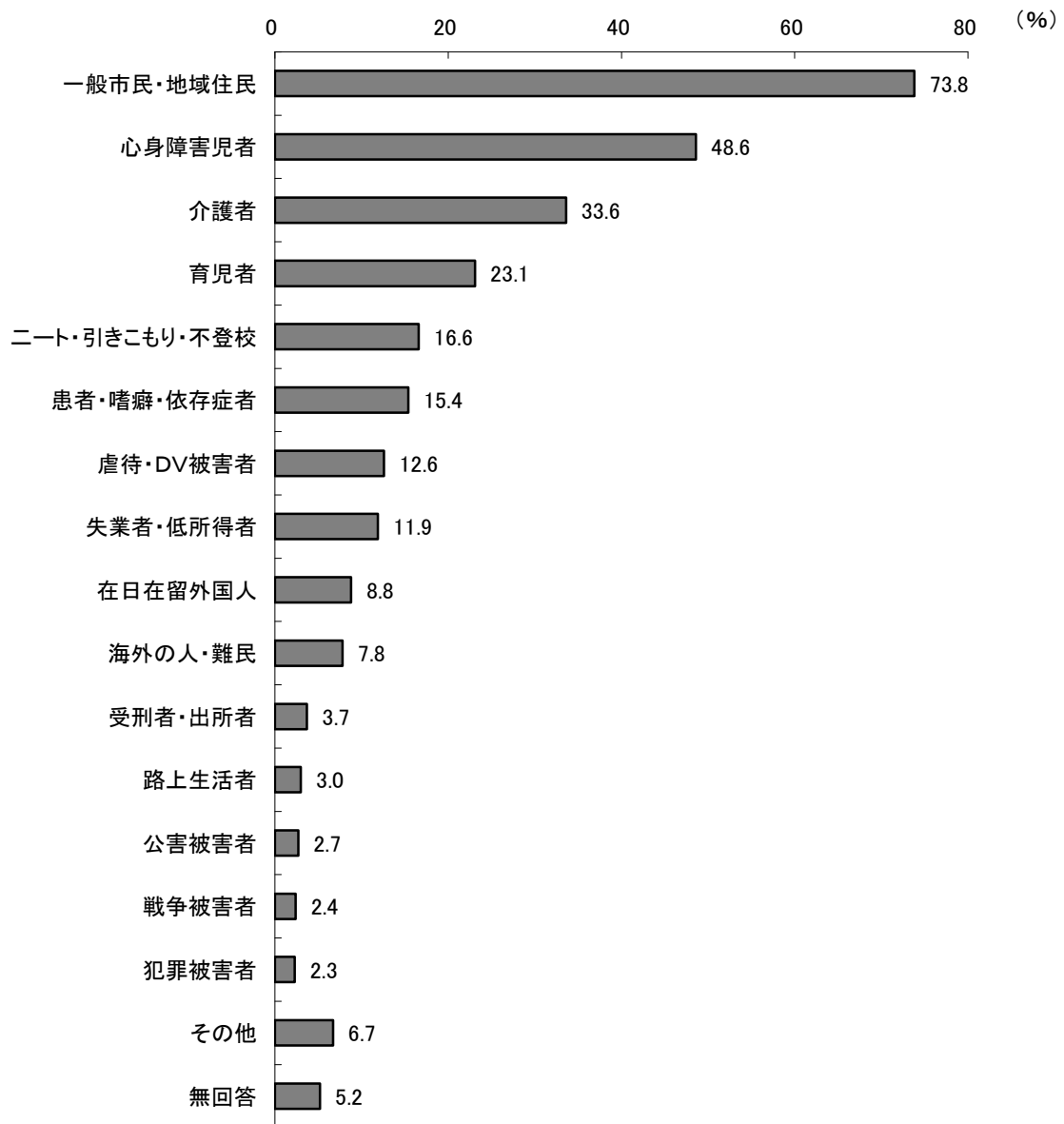
図表Ⅱ-4-4 活動分野（都）



注：「その他」には、「経済活動の活性化」、「科学技術の普及」などの回答があった。

資料：東京都内NPO法人に対する基礎調査（平成 23 年）

図表Ⅱ－４－５ 支援対象（都）



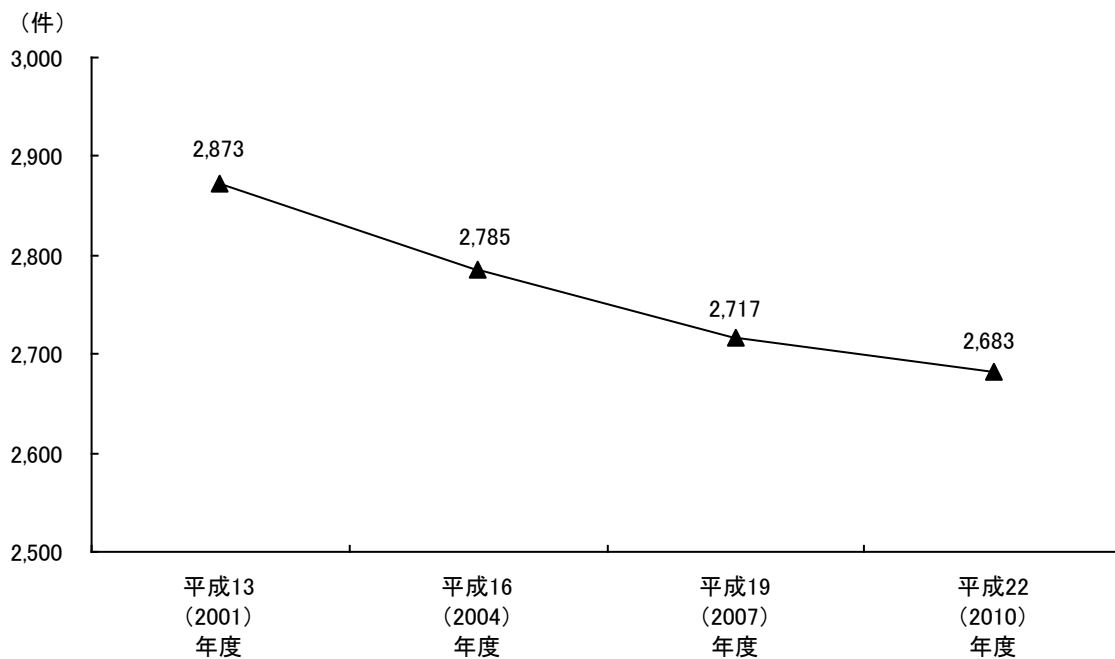
(複数回答) (n=706)

資料：東京都内NPO法人に対する基礎調査（平成23年）

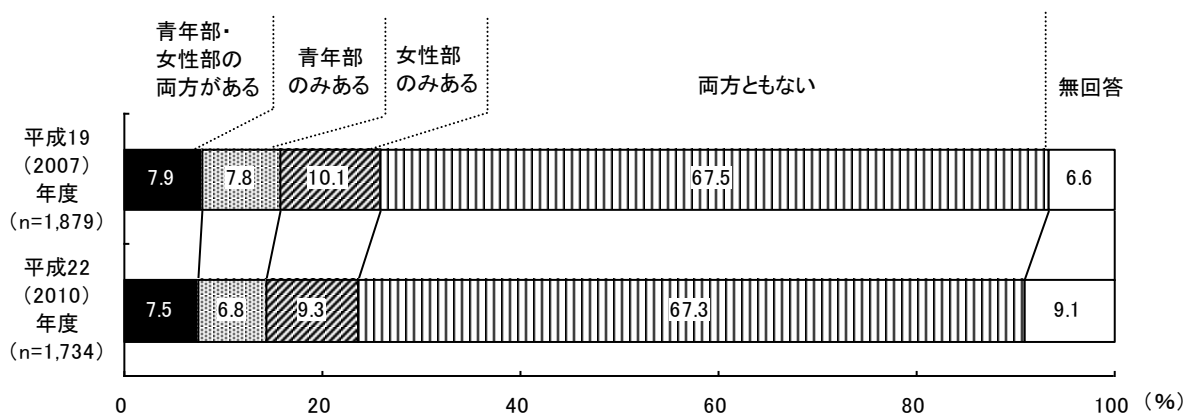
5. 商店街の推移、商店街における青年部や女性部の活動

東京都内の商店街数は、青年部や女性部の数と共に年々減少傾向にある。青年部の活動は、「売出・イベント・祭り」が5割を超えてもっとも多いが、女性部の活動は、「食事会、交流会、懇親会等」が26.4%でもっとも多い。

図表Ⅱ-5-1 東京都内の商店街数の推移（島嶼部を含む）



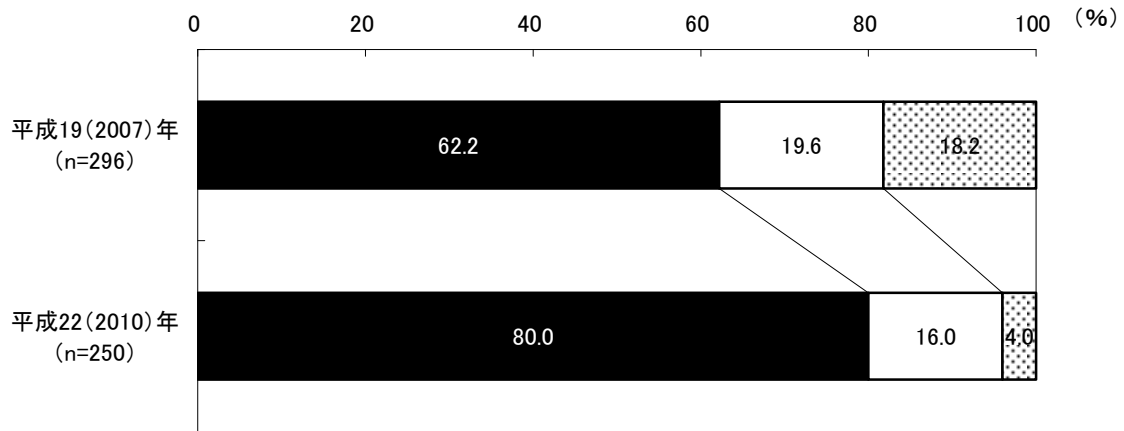
図表Ⅱ-5-2 青年部や女性部の有無（都）



資料：東京都産業労働局「東京都商店街実態調査」（平成22年）

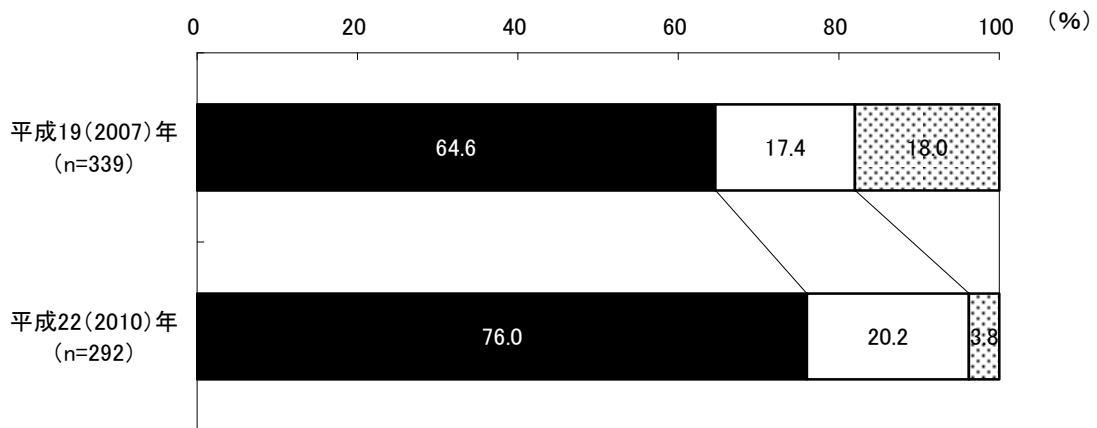
図表Ⅱ－５－３ 青年部主催活動の有無（都）

■行っている □行っていない □無回答



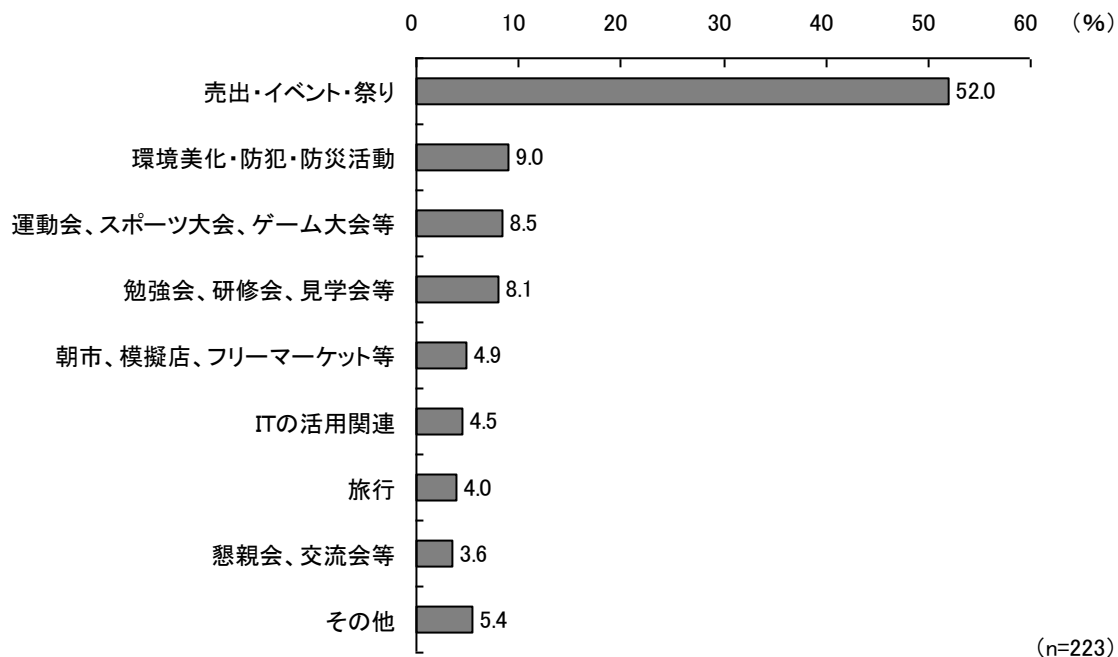
図表Ⅱ－５－４ 女性部主催活動の有無（都）

■行っている □行っていない □無回答



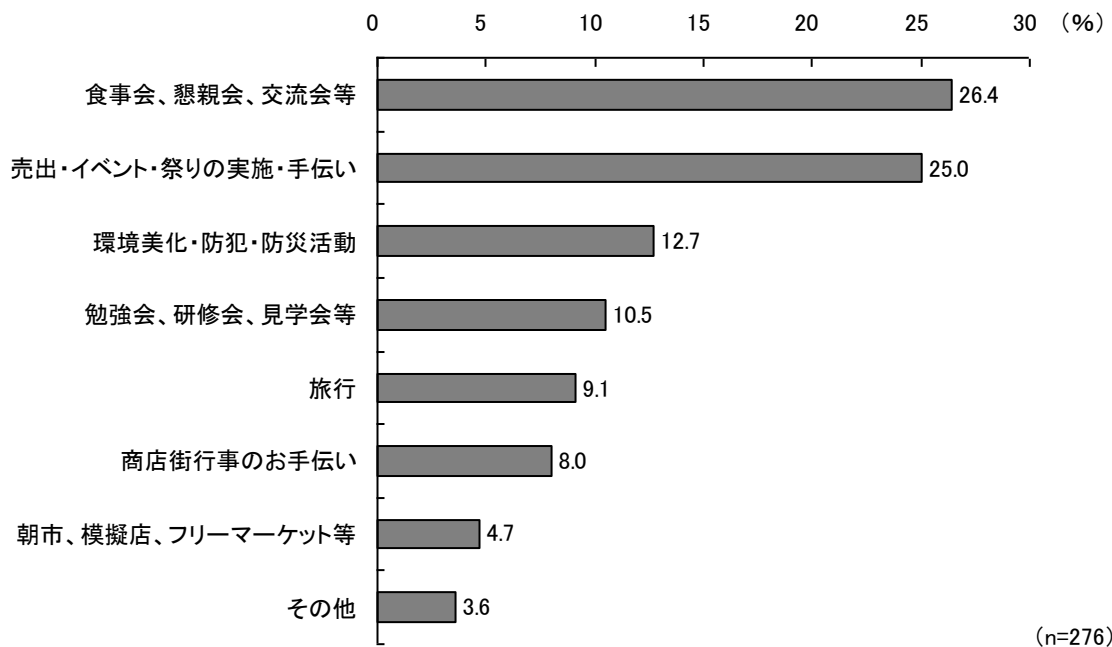
資料：東京都産業労働局「東京都商店街実態調査」（平成22年）

図表Ⅱ－５－５ 青年部主催活動の内容（都）



注：活動内容に関する回答のみを集計。

図表Ⅱ－５－６ 女性部主催活動の内容（都）



注：活動内容に関する回答のみを集計。

資料：東京都産業労働局「東京都商店街実態調査」（平成22年）